

# ARAI NEWS

Actual Story From Inside.



## 世界を駆け巡る アライレーシング サービス

### サービス

アライの商品造りが極限世界のサーキットから生まれていることは、もう皆さんご存知かと思えます。サーキットからの生声をフィードバックし、またときには若きレーサー諸君の身近な相談相手となる「レーシングサービススタッフ」、今回のArai Newsでは、そのスタッフリーダー・永治正宏の生声をお届けします。

#### 休むことは止まること

内装調整、シールドの曇り止め対策、汗対策など、多くのノウハウをレーシングサービスを通して学んできました。ヘルメットはレーサーの身体の一部でなければなりません。ヘルメットが頭に合わなかったり境界が確保出来なければ、それだけでレーサーの集中力が失われる時もあります。それらをつきつめていくと、私たちのサービス次第では、レーサーを速くも遅くも出来る、つまりときとして、レースの勝負そのものを左右することになる、という結論に達しました。それほどレーサーにとってヘルメットは重要なパーツなのです。もちろんヘルメットは転倒したときに

身を守る機能が最重要であることはいうまでもありません。しかし、ヘルメットの安全面では、品質管理の厳しいアライです。一般生産ラインからのものを、レーサー用と一般市販用の区別なく使用できません。こと安全性については、自信を持って薦めています。

全日本選手権シリーズはもちろん、国内主要レースもすべて、さらに海外へも「レーシングサービス」へと出掛けます。今年も春はドイツナへ、夏には世界GPをカバりました。そしてスタッフがいかにサーキットから戻れば選手用ヘルメットの内装造りからベインティングまで、スタッフ一丸となつて次のレースに向けての準備に追われます。

休みなんでありませんよ。私たちが休めばその間、止まっていることになりません。常に前進し続け、より良い物をクリエイトするには、休むヒマなんてあり得ないのです。

レーサーからあなたへ、  
そしてあなたからも  
レーシングサービスを通して、ときにはレーサーの意外な素顔に接することがあります。

たとえば平忠彦選手。世界を転戦するだけに、ヘルメットのメンテナンスを自分自身で行うことが多い。シールドなどのチェックはなかなか厳しい。日本人レーサーのなかではおそらく一番の汗かきなのは、汗対策には特に気をつかいます。

ヘルメットを大変容易に使用するのが水谷勝選手です。サービスブリスにやってくるどよく冗談を飛ばし、皆を笑わせてくれます。ヘルメット同様、サーキットギヤルのチェックもおこならない。まあ、そうやってスタート前の緊張感をやわらげているのでしょう。

春のドイツナ遠征中、ずっと一緒だった日本選手は、若いながらも、そのガッツにはビックリさせられます。これから世界へ飛躍してゆくレーサーとして期待しています。

もちろんトップレーサーのみならず、未来への夢を持つ若きレーサーの皆さんのお手伝いも私たちの仕事のひとつです。最近ではエントリー台数も増加する一方で、速いレーサーが数多くなり盛況しく思っています。

しかし、その反面、ベテランレーサーたちからは、マナー面での問題が指摘されることも多くなりました。速く走るための技術だけでなく、レーサーとしてのマナーや心構えまでを学べる、アライレーシングスクールでよりすばらしいレーサーへと育てて欲しいものです。

これからも、あなたのアライヘルメットにフィードバックするため、日夜、レーシングサービス「を」がんばろうと思っています。

そして、あなたからも、ユニークなアイデアや、フィッティング、曇り止め対策など、ヘルメットのメンテナンスについての提案や相談をお待ちしています。

では、サーキットのサービスコーナーでお会いしましょう。さつと、いいお付き合いが始められると思います。



永治 正宏